



第49回防衛大学校吹奏楽部

定期演奏会

2013年11月23日(土)

開場 14:30 / 開演 15:00

横須賀市芸術劇場大ホール

後援：横須賀市 / 横須賀市教育委員会

ごあいさつ



防衛大学校学校長 國分 良成

本日は防衛大学校吹奏楽部定期演奏会にお越しくございましたことに感謝申し上げます。

防衛大学校は将来の幹部自衛官となる為の人材を育成する教育機関であり、昨年度創立60周年を迎え、新たな一步を踏み出しました。学生は将来、日本の国防を担うという使命感を持ち、切磋琢磨しながら生活しています。吹奏楽部は防衛大学校の数々ある校友会のひとつです。校友会とは、部活動を意味しており、体力・気力の向上、協調性、リーダーシップとフォローアップ等、幹部自衛官として求められる資質を養う場であります。

本校吹奏楽部は、平素は学校行事で活躍しています。特に観閲式に関しては、音楽隊として隊の威容と斉一性を保ち、凛とした姿で演奏しております。この他に、地域貢献の一環として、また防衛大学校広報の一環として校外で演奏活動をしており、音楽を通して地域の方々と触れ合うと同時に、将来国防を担う防衛大学校学生として、信頼感を醸成しています。

定期演奏会は、防衛大学校吹奏楽部の一年間の集大成の場であると同時に、日頃お世話になっている地域の方々に音楽を通して感謝の意を込めて演奏する場でもあります。例年、ポップスを含む幅広いジャンルの曲を演奏しておりますが、本年度は、新たにクラシックの曲に挑戦すると聞いております。

本日の演奏会では、将来国防を担う若人の訓練や学生舎生活で培われた逞しく、凛々しい姿をどうぞお楽しみください。

最後になりますが、皆様方の日頃の温かい御支援、御声援に対しまして心より感謝申し上げます。



防衛大学校吹奏楽部部長
情報工学科教授 中村 康弘

本日は第49回定期演奏会にご来場いただき心より御礼申し上げます。

本校吹奏楽部は校内の各種行事における音楽隊としての活動の他、校外での活動も積極的に行っており、昨年度は聖セシリア小学校でのチャリティーコンサート、電力中央研究所でのパレード演奏などを行い、ご来場の皆様からご好評をいただきました。

定期演奏会はこのような種々の活動の集大成として、日頃の勉学、訓練等の合間に練習に励んで来た成果をご披露させていただく場です。皆様の防衛大学校吹奏楽部への温かいご支援、ご声援のほど、よろしく願い申し上げます。



防衛大学校吹奏楽部主将 第4学年 萩原 光聡

本日は、防衛大学校吹奏楽部定期演奏会にお越しいただき誠にありがとうございます。昭和40年、防衛大学校学生10期生から続く演奏会であり、皆様の温かいご支援により、49回目を迎える事が出来ました。部員一同、心から感謝しております。定期演奏会は、私達の日頃の練習の成果をご来場いただいた皆様にお見せする場であります。今年の演奏会のテーマを「静と動の調和～新たなる舞台への幕開け～」としまして、世界的に有名なオペラ「カルメン」をはじめ、色彩豊かな曲目に挑戦しております。本日はその練習の成果を遺憾無く発揮し、ご来場いただいた皆様にお楽しみいただき、「また来年も来たい」と思っていただけのように演奏しようと思ひます。どうぞ最後までごゆっくりとお聴きください。

指揮者紹介



山下 伸介

1972年東京都品川区生まれ、群馬県前橋市育ち。

12才よりバスーン（ファゴット）をはじめ、15才から故近藤寿行氏に師事する。尚美学園にて「バスーン」を太田 茂、「室内楽」を太田 茂、加古 勉、岡崎義明、後藤文夫、「吹奏楽指導法」を淀 彰、後藤文夫、「指揮法」を新田 孝、「音楽理論、楽曲分析、和声」を平野 明、田村和紀夫、鳴海史生、故大村哲弥の各氏に師事する。現在、バスーン奏者としてオーケストラや室内楽などで幅広く活躍している。2005年に結成

されたオーケストラ『Ensemble Roca』バスーン奏者。また、アマチュア団体の指導も積極的に行っている。『横浜金沢交響楽団』『ピブラムジカ』『二葉シンフォニエッタ』『防衛大学校吹奏楽部』各指揮者。『厚木交響楽団』『新宿フィルハーモニー管弦楽団』各トレーナー。横浜市立金沢中学校、都立高砂中学校、神奈川県立新栄高校、神奈川県立白山高校、神奈川県立港北高校、聖光学院中学校高等学校、静岡県立大学各講師。

御 支 援

防衛大学校吹奏楽部は、今年の定期演奏会を開催するにあたりまして、防衛大学校学術・教育振興会から支援金をいただきました。部員一同、心より感謝申し上げます。

第 1 部

君が代

陸軍分列行進曲

作曲：シャルル・ルルー

行進曲「軍艦」

作曲：瀬戸口 藤吉

空の精鋭

作曲：矢部 政男

ワシントン・ポスト

作曲：ジョン・フィリップ・スーザ

主よ人の望みの喜びよ

作曲：ヨハン・セバスチャン・バッハ

吹奏楽のための第一組曲

作曲：グスターヴ・ホルスト

陸軍分列行進曲

大日本帝国陸軍軍楽隊の招聘教官として来日したフランス軍軍楽教官シャルル・ルルーによって、1886年（明治19年）に作曲されました。ルルーは西南戦争における抜刀隊の活躍を表した軍歌『抜刀隊』と、『扶桑歌』という二つの歌曲を作曲しており、この二つの曲を合わせ編曲し『陸軍分列行進曲』としました。この曲は陸軍省制定行進曲となり、現在でも陸上自衛隊の行進曲として使用されています。

行進曲「軍艦」

1897年（明治30年）鳥山啓が「軍艦」を作詞、その後「日本行進曲の父」と讃えられる瀬戸口藤吉が作曲し1900年（明治33年）に「軍艦行進曲」として誕生しました。戦前に盛んに演奏され、現在の海上自衛隊でも儀礼曲の一つとして制定されており進水式や出港式典などで吹奏されている他、観閲行進曲としても演奏されています。

空の精鋭

この曲は、航空自衛隊創立40周年を記念して、元航空中央音楽隊フルート奏者矢部政男によって作曲されました。爽やかさの中に古典的な風格を感じさせる、航空自衛隊公式行進曲です。作曲者の「航空機がその能力を発揮できるのは、優秀な隊員と、その隊員達の団結によるものであり、航空自衛隊の一人一人が“空の精鋭”である」という思いが込められています。

ワシントン・ポスト

1889年6月15日にアメリカの新聞社「ワシントン・ポスト」の作文コンテストの表彰式で初演されたこの曲は、同社のオーナーの依頼で「マーチ王」と知られるジョン・フィリップ・スーザによって作曲され、瞬く間にヒットしました。

主よ、人の望みの喜びよ

ヨハン・セバスチャン・バッハによって作曲された、美しくも不思議な旋律が特徴の曲です。この曲は『心と口と行いと生活で』という全10曲からなる教会カンタータ（礼拝の際にうたわれる交声曲）の第6曲と第10曲に登場する曲の一部ですが、このコラールの部分が『主よ、人の望みの喜びよ』として広く親しまれています。

吹奏楽のための第一組曲

この曲は1909年にグスターヴ・ホルストにより作曲され、「シャコンヌ」「間奏曲」「行進曲」の3部構成となっています。「シャコンヌ」は、3/4拍子の旋律が何度も繰り返されている一方で、様々な対旋律が展開されています。続く「間奏曲」は、快活な2拍子による軽快な曲です。最後の「行進曲」は、イギリス的で鋭角的な2拍子によるマーチです。終始力強く、最後には高らかな主題が奏でられて、全曲を閉じるといった構成になっています。

第 2 部

♪歌劇『カルメン』より

作曲：ジョルジュ・ビゼー

Les Toreadors
(闘牛士)

Les dragons d'Alcala
(アルカラの竜騎兵)

Prelude to Act I
(第1幕への前奏曲)

Chanson du Toreador
(闘牛士の歌)

Aragonaise
(アラゴネーゼ)

Habanera
(ハバネラ)

La Garde Montante
(衛兵の交代)

Seguidilla & Duet
(セギディーリャ)

Intermezzo to Act III
(間奏曲)

Danse Boheme
(ジプシーの踊り)

歌劇『カルメン』

オペラ『カルメン』は、プロスペル・メリメの小説『カルメン』を基にしたもので、ジョルジュ・ビゼーが作曲したフランス語による4幕構成のオペラです。フランス歌劇の代表作として世界的に人気があり、日本国内でも最もポピュラーなオペラ作品として親しまれています。世界的にも一、二を争う人気オペラであり、特に親しみやすいメロディが豊富なことが特徴です。

～あらすじ～

1820年代のスペインはセビリア。煙草工場で働く女工婦カルメン。彼女は、若い男達に人気があり、「ハバネラ」を歌って男達を魅了する。その煙草工場の衛兵をしている竜騎兵の伍長ドン・ホセ。

ある日、カルメンは胸に付けているカッシアの花をホセに投げつけ、去っていく。仕事に戻った女工たちは工場の中で喧嘩を起こしてしまう。原因はカルメンで、彼女は逮捕される。しかし、護送するホセはカルメンの誘惑に負けて、カルメンの手縄をほどき逃がしてしまう。ホセはカルメンを逃がし、一ヶ月間の営倉入りにされる。

一ヶ月後ホセは、閉店後の居酒屋でカルメンと再会を果たす。ホセの真剣な気持ちに心動かされ、カルメンはホセに軍隊を辞めることを勧める。ホセは軍を脱走し、カルメンが働いている店で働くこととなる。その店は、盗賊団のアジトで、カルメンは副業で密輸の手伝いをし

ており、ホセにこれを手伝えと強要する。ホセは拒否するが、成り行きで密輸団に入らざるを得なくなる。ホセは仕事仲間も恋人も捨てて、カルメンを愛する。

一年後、ホセとカルメンとの心のすれ違いが大きくなっていく。ちょうどその時、闘牛士エスカミーリョが現れる。

エスカミーリョもカルメンに魅了された男のひとりであり、カルメンとエスカミーリョは互いに好意を持ち始める。ここでホセの元恋人ミカエラは、ホセのことを心配して、一緒に故郷に戻ろうと説得する。カルメンはホセとの別れを認めるが、ホセは認めない。しかし、ホセは自分の母親が危篤と知り、一度母のもとへ帰ることになる。「絶対に戻ってくるからな！！」とホセは叫んで去っていく。解放されたカルメンは、エスカミーリョと付き合い始める。

しばらくして、エスカミーリョと仲を深め、カルメンはホセと闘牛場で再会する。「もう一度やり直そう」とホセはカルメンに必死で説得するが、カルメンは全く聞く耳を持たない。「人に言われて動くような私じゃない。自由に生きられないのなら死んだほうがまし！」とカルメンはホセに向かって言う。カルメンは以前ホセにもらった指輪をホセに投げつけてしまう。逆上するホセはカルメンを刺し殺す。冷たくなるカルメンを抱きしめながら、「オレを逮捕してくれ！殺したのはオレだ！ああ、カルメン！おれの大事なカルメン！」と泣き叫び、終幕を迎える。

パート紹介



クラリネット

ご存じクラリネットは吹奏楽の中では主旋律を担当することが多く、花形の楽器と言えるでしょう。

パート員は4学年が2人、2学年が1人、1学年が4人という編成

です。彼らの多くは初心者でしたが、今日のために練習を重ねてきました。本日の演奏では、クラリネットにご注目ください。



フルート

フルートは、バンドにおいて最高音域を担当し、透明感のある綺麗な音が特徴的な楽器です。

私達は、日々の練習において具体的な目標を設定し、自分の理想と

する音色を追求して参りました。今回は、総勢4名で演奏します。フルートが際立つフレーズも多くありますので、その音色を心ゆくまでお楽しみください。



トロンボーン

直管楽器の華やかなサウンドから教会のオルガンのような重厚な響きまで色彩豊かなトロンボーンという楽器に魅せられた者たちの集うトロンボーンパートは、自分たちの理想とするサウンドを目指し日々練習に励んでいます。

本日はトロンボーン、そして吹奏楽の色彩感を少しでも楽しんでもらえるよう精一杯演奏します。



サクソ

テナーサクソを担当している期待の新人1学年河本学生。サクソ歴9年目で、ソプラノ、アルト、テナーサクソを駆使する3学年大地学生。目立ちたがりのアルト

サクソ4学年岩本学生。低音を担当し、サクソパートの要4学年須賀学生。以上の4人で練習してきました。金管と木管をつなぐ架け橋となれるように頑張ります。また、ロビーではサクソ4重奏による演奏を行います。サクソが奏でる響きをお楽しみください。



オーボエ&バスーン

私たちの部では、オーボエパートとバスーンパートをまとめてダブルリードパートと呼んでいます。私たちのパートは総勢3名ですが、現在は廣中学生が海外派遣のため

不在であり、2名で活動してきました。ダブルリードという名の通り、どちらの楽器も葦という植物でできた2枚のリードの振動によって音が鳴る楽器です。バスーンは主に伴奏を担当しているため、曲中ではあまり目立ちませんが、どちらも吹奏楽では重要な役割を担っております。特に、今回演奏するカルメン組曲では、どちらもソロを演奏します。オーボエの美しい音色、バスーンの独特の音色を、耳を澄ましてお聞きいただけたら幸いです。



トランペット

皆さんご存知のトランペットは金管楽器の王様と言われる楽器で、ソロ演奏の機会も多く、吹奏楽の中で花形の楽器です。本日の定期演奏会でもいくつかソロ演奏を行います。

ご覧になっている皆様にトランペットの魅力をお伝えできるように、練習に汗を流してきました。どうぞご注目ください。



ユーフォニアム

みなさんはユーフォという楽器を知っていますか。正式にはユーフォニアムという名前です。「朗々と響く」という意味があります。吹奏楽では中低音を担当し柔らかい音で主に対旋律を奏でます。

表情豊かな音色をお楽しみください。本日の定期演奏会で私たち2人が一緒に演奏するのが最後となります。3年間の集大成を発揮できるよう頑張ります。



チューバ&コントラバス

チューバとコントラバスは吹奏楽の音の中で基盤となるパートです。縁の下の力持ちとして、いつも他の楽器の音を支えられるよう日々努力しています。今回の定期演奏会でも日頃の練習の成果を十二分に発揮し、他のパートとともに豊かなハーモニーを作り、良い曲作りに貢献したいと思

います。



ホルン

ホルンは他の楽器とは違い、ベルが後ろを向いている楽器です。そのため音がステージの床や後ろの壁に反響するので、柔らかい音を出すことができます。主に伴奏を担当しています。

ホルンの音色は金管楽器と木管楽器の間なので、金管楽器のグループに合わせて演奏するときと、木管楽器のグループに合わせて演奏する場合があります。合奏では、他の楽器の音色の引き立て役です。今回の定期演奏会では、合奏全体を引き立てられるように頑張ります。



パーカッション

打楽器は「第二の指揮者」と言われています。また、打楽器は多種多様な楽器を駆使して、演奏しております。パレードでは学生隊1500人以上をバスドラムとスネア

アドラムで叩きながら、歩調をとっています。そんな重責を負いながら一発一発に魂を込めながら演奏しております。打楽器パートは現在4学年1名、2学年1名、1学年2名の計4名です。打楽器パートのチームワークを活かしながら、多くの楽器を使いこなし、管楽器の演奏を引き立てていきたいと思

第49回防衛大学校吹奏楽部定期演奏会参加者名簿

Conductor

山下 伸介 (常任指揮者)
伊藤 大貴 (58期)

Flute / Piccolo

石母田あさひ (59期)
橋本 一樹 (60期)
中山 健弘 (61期)
宮田 康 (36期)
角谷 昭宏 (顧問)

Oboe

林 雅子 (61期)
弘瀬 麻子 (賛助)

Clarinet

萩原 光聡 (58期)
北迫亜細亜 (58期)
浅野 真一 (60期)
神山 麻美 (61期)
佐藤 萌恵 (61期)
前田 護 (61期)
河形 由祐 (61期)
木下 祐治 (14期)
菊池 良勝 (34期)
天鷲 克巳 (賛助)

Bassoon

吉田 雅輝 (59期)

Saxophone

須賀 英樹 (58期)
岩本 顯誠 (58期)
大地 健吾 (59期)
河本 和憲 (61期)

Trumpet

西村 俊宏 (58期)
小池 真央 (59期)
佐藤 雅裕 (60期)
太田 遼介 (61期)
多田 茂 (顧問)
平山 貴史 (賛助)
高江洲 圭 (賛助)

Horn

佐藤 大収 (59期)
安井 智洸 (59期)
前田 優樹 (60期)
長坂 葵 (61期)
中村 康弘 (26期・部長)
亀井 良一 (部外顧問)

Trombone

伊藤 大貴 (58期)
伊藤 愼嵩 (59期)
横田 健太郎 (60期)
倉谷 昌伺 (23期)

Euphonium

笠間 総一郎 (58期)
中野 大祐 (59期)
金井 泉寿 (22期)

Tuba

阿部 伯弥 (59期)
清水 圭呉 (60期)

Contrabass

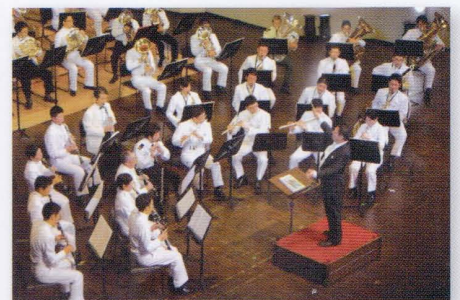
山家 裕介 (61期)
天鷲 次代 (賛助)

Percussion

山上 真史 (58期)
西 知世 (60期)
行武 里紗 (61期)
平子 海斗 (61期)
亀井 美好 (部外顧問)

Harp

亀井 美好 (部外顧問)





防衛大学校吹奏楽部

お問い合わせ：046-841-3810（内線2019）

防衛大学校総務部総務課社会連携推進室広報係

吹奏楽部ホームページ <http://www.nda.ac.jp/ed/winds/>